In-Ground Boxed Lights for OUTDOOR

MOD's

BOX : STANDARD

- □ ボックス施工時の注意
- □ 取付概要
- □ カバーガラスの取付方法

《取付時の注意事項》

⚠ 取付工事は必ず有資格者が行って下さい。

本品は防水器具です。誤った取付け方法では防水性能が損なわれ重大な事故につながる恐れがあります。
工事の不良による事故には一切の責任を負いかねます。施工は必ずこの説明書に従って下さい。

⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行って下さい。施工に不備があると、感電・火災・浸水の原因となります。
●車輌の通行する場所には使用しないで下さい。浸水による感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電源で使用しないで下さい。感電・火災の原因となります。
●適合電線・適合防水パッキンを使用しケーブルグランドを確実に締付けて下さい。
締付けに不備があると、浸水による感電・火災の原因となります。
●草や木でガラスが全面覆われるような場所では使用しないで下さい。火災の原因となります。
●器具を改造しないで下さい。感電・火災・浸水の原因となります。
●ランプ点灯中や、消灯直後は高温になってますので、素手で触れないで下さい。やけどの原因となります。
●万一、煙りが出たり、変な臭いがするなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切り工事店に修理を依頼して下さい。
異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

配線用電源ケーブルについての注意事項
推奨電源ケーブルは 3芯 φ12.5～φ16.5の2PNCTです。 これ以外のケーブルを使用するときは、φ12.5～φ16.5の丸型のケーブルをご使用ください。 指定径以外のケーブルを使用しますと、浸水の原因となります。

●くぼ地等の水のたまる場所には、設置しないで下さい。浸水による感電・火災の原因となります。
●ケーブルグランド部・ガラス、枠部には土、砂、ゴミ等がかまないように施工して下さい。
●周囲温度は35℃以上では、使用しないで下さい。火災の原因となります。
●振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないで下さい。器具破損、劣化の原因となります。
●器具照射面から被照射物への距離を50cm以上確保してください。
●定期的な清掃を行い、器具上面が枯葉等で覆われないようにして下さい。火災の原因となります。
●器具には寿命があります。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、
不具合がありましたら適切に処置して下さい。放置すると、火災の原因となることがあります。
●車両・金属性車両・重量物荷重のかかる場所ではご使用できません。

⚠お手入れ、ランプ交換について

●汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布を、よく絞ってからふきとり、乾いた布で仕上げて下さい。
●シンナーやベンジンでふいたり、殺虫剤をかけたりしないで下さい。変色、変質の原因となります。
●指定以外のランプを使用すると火災の原因となります。
●乾燥剤はランプメンテの際に必ず交換して下さい。
●ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切って、温度が十分に冷えてから行って下さい。やけど・感電の原因となります。
●ランプ交換の際には、適合ランプを確認してから、各部のなまえと取付け方法にしたがい、確実に行って下さい。
不備があると、感電・火災・浸水の原因となります。

この取扱説明書は、施工終了後、ご使用になられる方へ必ずお渡し下さい。

ModuleX

Install Guide | MOUNTING

取付説明書（取付装置）

1.各部の名称

1,カバーガラス

別梱の灯具を接続後、施工の
仕上がりが全て済んでから
使用します。

2,埋設ボックス

養生フタ

ボックス

防水構造ボックスです。施工に注意して下さい。
養生フタは施工中常に使用します。
ボックス内に土やゴミが入らない様にする為のフタです。
しっかりと取り付けた状態で、施工を進めて下さい。

3,ゴムスリーブ

×2（黒）　φ14.5～φ16.5用

×2（グレー）　φ12.5～φ14.5用

※ ×2（グレー）　穴無し

※穴無しゴムスリーブは、
あらかじめボックスに
取付けてあります。

2.施工概要

カバーガラス枠固定防水ボルトM4（六角穴付）×6

2-枠取り出し用切り欠き

6-M4六角穴付ボルト

固定ボルト取付ピッチ300

送り配線

固定ボルト取付ピッチ300
（M8ボルト×4）

PF1（G28）

施工時　推奨開口径 □600以上

ボックス最外寸法

建築側　推奨開口径φ195

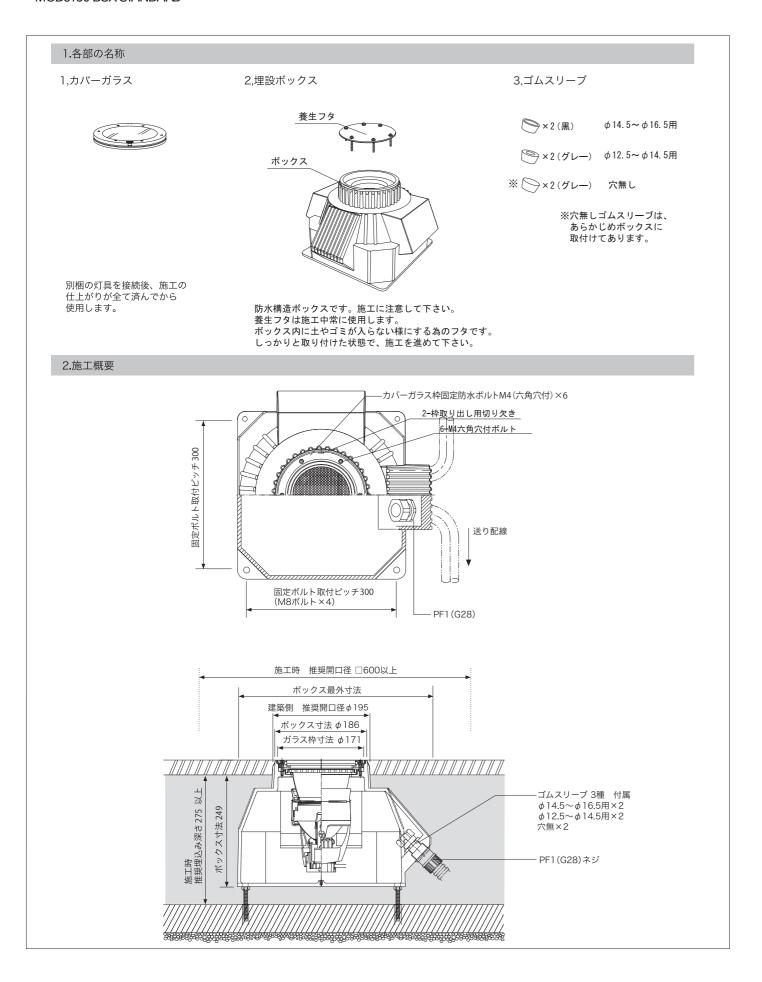
ボックス寸法 φ186

ガラス枠寸法 φ171

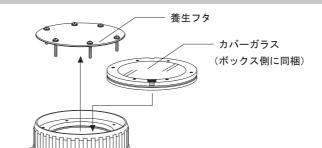
施工時 推奨埋込み深さ 275 以上

ボックス寸法 249

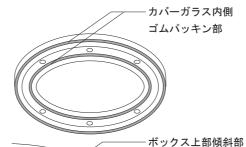
ゴムスリーブ 3種　付属
φ14.5～φ16.5用×2
φ12.5～φ14.5用×2
穴無×2

PF1（G28）ネジ

⚠ 浸水の恐れあり　カバーガラスの取付は必ず取扱説明書の通りに行って下さい。

《カバーガラスの取付方法》

1

養生フタをはずし、ボックス側に同梱されている
カバーガラスを取付ける。

> ⚠ 養生フタは、施工が完全に終えるまでは
> はずさないで下さい。
> 施工終了後、カバーガラスを取付けて下さい。

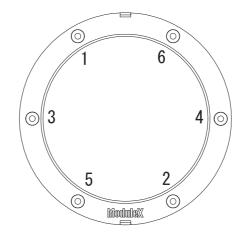
2

この面にゴミ、小石等の異物をはさむと、ボックス内に
浸水しますので、カバーガラスを取付ける場合は、
きれいに清掃して取付けて下さい。

> ⚠ ボックス側、カバーガラス側ともに、
> ゴムパッキンはよく掃除して下さい。

ボックス上部傾斜部

ボックス側
ゴムパッキン部

ネジ穴にゴミが入らない様注意して下さい。

3

カバーガラス（アウターガード付も同じ）を締め付ける時は、
トルク設定150～200N・cm以上の締め付け力で均等に行って下さい。
左記番号順に締め付け、なおかつ、増締めして下さい。
締め付けが不十分の場合、浸水の原因となります。

電気ドライバーを使用する場合、
締め付け終わった跡に六角レンチを使って、
手でしっかりと締め上げて下さい。

> ⚠ 必ず増締めを行って下さい。

不良施工例

ボルトの欠落

お問い合わせは 株式会社モデュレックス

TOKYO　TEL.03-5768-3681
東京都渋谷区恵比寿南1-20-6第21荒井ビル

OSAKA　TEL.06-6305-3501
大阪市淀川区西中島5-6-9新大阪第一ビル9F

FUKUOKA　TEL.092-732-4211
福岡市中央区大名1-8-30-1

In-Ground Boxed Lights for OUTDOOR

MOD's

BOX : STANDARD

□ ボックス施工時の注意

□ 取付概要

《取付時の注意事項》

⚠ 取付工事は必ず有資格者が行って下さい。

本品は防水器具です。誤った取付け方法では防水性能が損なわれ重大な事故につながる恐れがあります。
工事の不良による事故には一切の責任を負いかねます。施工は必ずこの説明書に従って下さい。

⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行って下さい。施工に不備があると、感電・火災・浸水の原因となります。
●車輌の通行する場所には使用しないで下さい。浸水による感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電源で使用しないで下さい。感電・火災の原因となります。
●適合電線・適合防水パッキンを使用しケーブルグランドを確実に締付けて下さい。
締付けに不備があると、浸水による感電・火災の原因となります。
●草や木でガラスが全面覆われるような場所では使用しないで下さい。火災の原因となります。
●器具を改造しないで下さい。感電・火災・浸水の原因となります。
●ランプ点灯中や、消灯直後は高温になってますので、素手で触れないで下さい。やけどの原因となります。
●万一、煙りが出たり、変な臭いがするなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切り工事店に修理を依頼して下さい。
異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

配線用電源ケーブルについての注意事項

推奨電源ケーブルは 3芯 φ12.5〜φ16.5の2PNCTです。
これ以外のケーブルを使用するときは、φ12.5〜φ16.5の丸型のケーブルをご使用ください。
指定径以外のケーブルを使用しますと、浸水の原因となります。

●くぼ地等の水のたまる場所には、設置しないで下さい。浸水による感電・火災の原因となります。
●ケーブルグランド部・ガラス、枠部には土、砂、ゴミ等がかまないように施工して下さい。
●周囲温度は35℃以上では、使用しないで下さい。火災の原因となります。
●振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないで下さい。器具破損、劣化の原因となります。
●定期的な清掃を行い、器具上面が枯葉等で覆われないようにして下さい。火災の原因となります。
●器具には寿命があります。3〜5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、
不具合がありましたら適切に処置して下さい。放置すると、火災の原因となることがあります。
●車両・金属性車両・重量物荷重のかかる場所ではご使用できません。

⚠お手入れ､ランプ交換について

●汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布を、よく絞ってからふきとり、乾いた布で仕上げて下さい。
●シンナーやベンジンでふいたり、殺虫剤をかけたりしないで下さい。変色、変質の原因となります。
●指定以外のランプを使用すると火災の原因となります。
●乾燥剤はランプメンテの際に必ず交換して下さい。
●ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切って、温度が十分に冷えてから行って下さい。やけど・感電の原因となります。
●ランプ交換の際には、適合ランプを確認してから、各部のなまえと取付け方法にしたがい、確実に行って下さい。
不備があると、感電・火災・浸水の原因となります。

この取扱説明書は、施工終了後、ご使用になられる方へ必ずお渡し下さい。

ModuleX

Install Guide | MOUNTING

取付説明書（取付装置）

設置

1. 設置場所に開口600mm×600mm、深さ325mm以上を確保して下さい。（配管材の接続の為の寸法も含まれています。）
2. 下部は砂利などで水はけをよくし、アンカーを固定する下地を準備し、M8ボルトを4本打ち込んで下さい。
   取り付けピッチ250×250
3. M8ボルト4本をボックス側取り付け穴にセットし
   M8ナット・ワッシャーで調節して固定して下さい。
4. レベル調整して、養生フタ下面とGLラインを合わせて下さい。

⚠ 必ず水平に設置
水準器等を使って水平に調整して下さい。

⚠ GLは、ボックスのフチに合わせて下さい。
養生フタは完成時取外しします。(仕上がり時フラットになります)
養生フタを使用しカバーガラス取付用ネジ穴に
ゴミが入らないようにして下さい。

1. 配管/配線

養生フタをはずし通線して下さい。ゴムスリーブは3種類あります。
あらかじめ取付けてある専用のブラインドコネクター（穴無しゴムスリーブ）をはずし配線して下さい。ケーブルサイズに合わせてゴムスリーブを使い分けて下さい。
送り配線をしない時は、再度専用のブラインドコネクター（穴無しゴムスリーブ）を必ず取付けて下さい。

ボックス側には配管コネクター用ネジ（メネジ PF1 (G28) がネジ加工してあるので、それに合うコネクター（オネジ）を別途ご用意下さい。

配管コネクター用メネジ PF1 (G28) 加工済
配管コネクター（別途）ネジサイズがPF1 (G28) のものをご使用下さい。
上記対応配管材（別途）

ボックス内側図

電源口からのケーブル外径残しは、50mm程度にして下さい。
出しすぎると、灯具の邪魔になります。

50mm
電源用コネクター

キャップ：ケーブルが前後に動かなくなる位置までしっかり締付けてください。浸水の原因となります。
（参考締付けトルク290~340N/cm）

×2 ゴムスリーブ（黒）適合丸型ケーブル外径φ14.5～φ16.5
×2 ゴムスリーブ（グレー）適合丸型ケーブル外径φ12.5～φ14.5
×2 ゴムスリーブ（グレー）穴無し

電源用コネクターはボックスに取付け済みです。絶対にはずさないで下さい。浸水の原因となります。ゴムスリーブの間、キャップとゴムスリーブの間等にコーキング剤等を使用すると、逆に密封性が損なわれる恐れがあります。
キャップを取付ける場合は真空グリースを塗布してご使用になると、より締め付けが確実になります。

⚠ 以下のような施工は絶対に行わないで下さい。

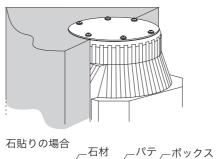
指定外接続
ゴムスリーブ、キャップ無し、粘土どめ

指定外接続
ゴムスリーブ、キャップ無し、コーキングどめ

指定外接続の使用例
ゴムスリーブ、キャップ無し アースが別配線

指定外ケーブルの使用例（ケーブル径過小）
ゴムスリーブとケーブル径が合っていない

推奨電源ケーブル
・φ12.5～φ16.5の2PNCT3芯
これ以外のケーブルを使用するときは、φ12.5～φ16.5の丸型のケーブルをご使用ください。

2. 仕上げ

⚠ 仕上終了までは養生フタを取付けしておいて下さい。
カバーガラスを先に取付けると、
仕上施工中にキズが入ったり
汚れたりする恐れがありますので注意して下さい。

⚠ ネジをしっかり締め直して下さい。

灯具・ガラスの取付方法は、灯具に同梱されている取付説明書 をご参照の上、取付けて下さい。

お問い合わせは 株式会社モデュレックス

TOKYO TEL.03-5768-3681
東京都渋谷区恵比寿南1-20-6第21荒井ビル

OSAKA TEL.06-6305-3501
大阪市淀川区西中島5-6-9新大阪第一ビル9F

FUKUOKA TEL.092-732-4211
福岡市中央区大名1-8-30-1

In-Ground Boxed Lights for OUTDOOR

MOD's

UNIVERSAL 【COOL TOUCH BOX対応】

MOD-D130/4563SP

□ 灯具の取付方法 / ランプ交換

《取付時の注意事項》

⚠ 取付工事は必ず有資格者が行って下さい。

本品は防水器具です。誤った取付け方法では防水性能が損なわれ重大な事故につながる恐れがあります。
工事の不良による事故には一切の責任を負いかねます。施工は必ずこの説明書に従って下さい。

⚠警告

- ●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行って下さい。施工に不備があると、感電・火災・浸水の原因となります。
- ●車輌の通行する場所には使用しないで下さい。浸水による感電・火災の原因となります。
- ●表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電源で使用しないで下さい。感電・火災の原因となります。
- ●適合電線・適合防水パッキンを使用しケーブルグランドを確実に締付けて下さい。
  締付けに不備があると、浸水による感電・火災の原因となります。
- ●草や木でガラスが全面覆われるような場所では使用しないで下さい。火災の原因となります。
- ●器具を改造しないで下さい。感電・火災・浸水の原因となります。
- ●ランプ点灯中や、消灯直後は高温になってますので、素手で触れないで下さい。やけどの原因となります。
- ●万一、煙りが出たり、変な臭いがするなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切り工事店に修理を依頼して下さい。
  異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

配線用電源ケーブルについての注意事項

推奨電源ケーブルは 3芯 φ12.5～φ16.5の2PNCTです。
これ以外のケーブルを使用するときは、φ12.5～φ16.5の丸型のケーブルをご使用ください。
指定径以外のケーブルを使用しますと、浸水の原因となります。

- ●くぼ地等の水のたまる場所には、設置しないで下さい。浸水による感電・火災の原因となります。
- ●ケーブルグランド部・ガラス、枠部には土、砂、ゴミ等がかまないように施工して下さい。
- ●周囲温度は35℃以上では、使用しないで下さい。火災の原因となります。
- ●振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないで下さい。器具破損、劣化の原因となります。
- ●定期的な清掃を行い、器具上面が枯葉等で覆われないようにして下さい。火災の原因となります。
- ●器具には寿命があります。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、
  不具合がありましたら適切に処置して下さい。放置すると、火災の原因となることがあります。
- ●車両・金属性車両・重量物荷重のかかる場所ではご使用できません。

⚠お手入れ､ランプ交換について

- ●汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布を、よく絞ってからふきとり、乾いた布で仕上げて下さい。
- ●シンナーやベンジンでふいたり、殺虫剤をかけたりしないで下さい。変色、変質の原因となります。
- ●指定以外のランプを使用すると火災の原因となります。
- ●乾燥剤はランプメンテの際に必ず交換して下さい。
- ●ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切って、温度が十分に冷えてから行って下さい。やけど・感電の原因となります。
- ●ランプ交換の際には、適合ランプを確認してから、各部のなまえと取付け方法にしたがい、確実に行って下さい。
  不備があると、感電・火災・浸水の原因となります。

ModuleX

Install Guide | LIGHTING FIXTURE

取付説明書（照明器具）

製品仕様

MOD-D130/4563SP

IP67・防湿型/防塵型
HCI-TC35W（別売）
100V/200V（専用安定器）
45W
首振角度　17°
防湿安定器付

灯具　＋　専用安定器　＋　乾燥剤

灯具の取付/配線

〈HCI灯具の結線〉

配管、配線の方法は、ボックス側に同梱されている
施工説明書（BOX：STANDARD）　をご参照下さい。

図B
図A
安定器設置位置
乾燥剤設置位置

φ12.5〜φ16.5の丸型のケーブル

配線図

黒
茶
緑（アース）
コネクタ
安定器
灯具

図A / 1次側配線

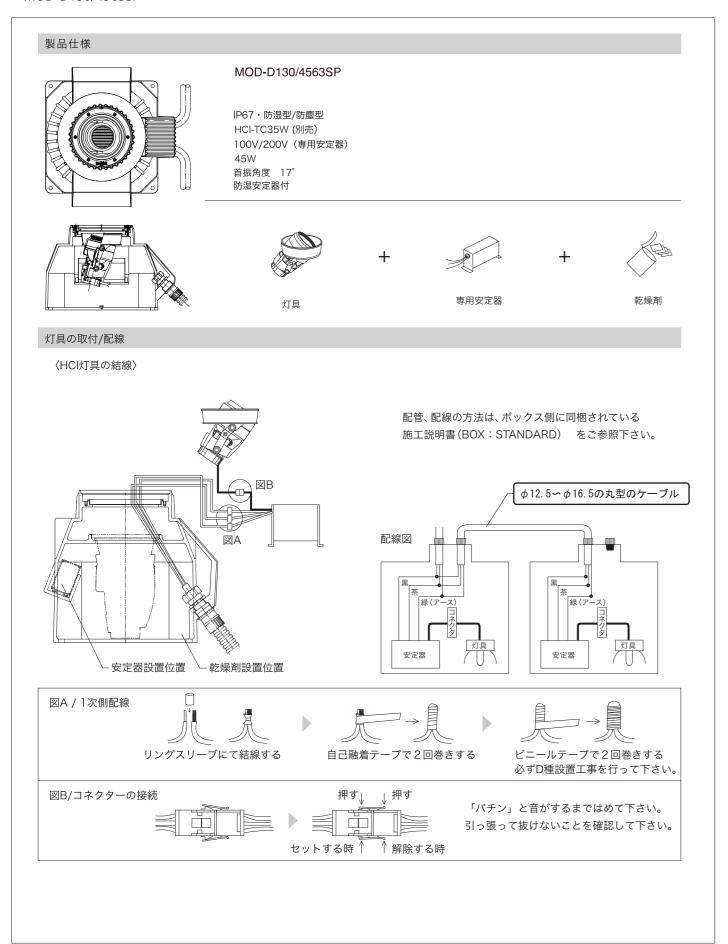
リングスリーブにて結線する
自己融着テープで２回巻きする
ビニールテープで２回巻きする
必ずD種設置工事を行って下さい。

図B/コネクターの接続

押す　押す
セットする時　解除する時

「パチン」と音がするまではめて下さい。
引っ張って抜けないことを確認して下さい。

1. 乾燥剤

⚠ 乾燥剤は必ず銀の袋
から出して下さい。

配線が終わりましたら乾燥剤を入れて下さい。

⚠ 必ず銀の袋から出して、内包されている4ヶすべて入れて下さい。

⚠ 乾燥剤の効果期間

ランプの寿命とほぼ同様です。
ランプ交換の際は一緒に乾燥剤も交換して下さい。
乾燥剤品番：MA-DR01（別売）

2. ランプの取付/交換

ボックスから灯具を取り出し、ソケットカバーを本体から外します。
左に回すとロックが解除されます。そのまま上に引き抜いて下さい。
ランプをソケットホルダーに差し込み、
再びソケットホルダーを本体にセットして下さい。

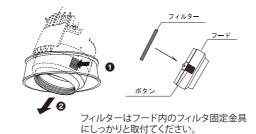
⚠ ランプ取付、交換の際は、必ず電源を切ってから行って下さい。
⚠ ランプは必ず適合品をお使い下さい。
⚠ ランプの取付は必ずベース部を持ち確実にセットしてください。
ガラス部を持つと、ランプ破損や不点灯の原因となります。
⚠ HIDランプ使用器具は調光不可です。調光器は絶対に使用しないで下さい。
⚠ ランプ交換の際は、必ず「乾燥剤」も一緒に交換して下さい。
乾燥剤の効果はランプの寿命とほぼ同じです。
乾燥剤品番：MA-DR01（別売）
⚠ 灯具をボックスに戻し、カバーガラスを取り付ける際は、ボックス側、
カバーガラス側のゴムパッキン部をきれいに清掃して下さい。
この面に小石等の異物をはさむとボックス内に浸水する恐れがあります。
（取扱説明書Ⓐを参照のこと。）

3. 灯具取付の向き

⚠ 灯具取付の向き

灯具の首振り角度を確定させ、ボックス内に取り付けます。
取り付けの際は、ボックスの切り欠きに灯具の突起を合わせて下さい。
合わせないまま行っても、きちんと取り付けられません。
取り付けが済んだら、灯具を回転させ任意の照射方向にセットして
下さい。

4. ライティングパーツの取付/配光の調整

フィルターはフード内のフィルタ固定金具
にしっかりと取付てください。

フードとボディの接合部にある２つのボタンを押した状態でフードを外し、
フィルターの取りつけをおこないます。

上記1〜4が終了後、取付説明書 Ⓐ をご参照の上、
カバーガラスを取付けて下さい。

お問い合わせは 株式会社モデュレックス

TOKYO　TEL.03-5768-3681
東京都渋谷区恵比寿南1-20-6第21荒井ビル

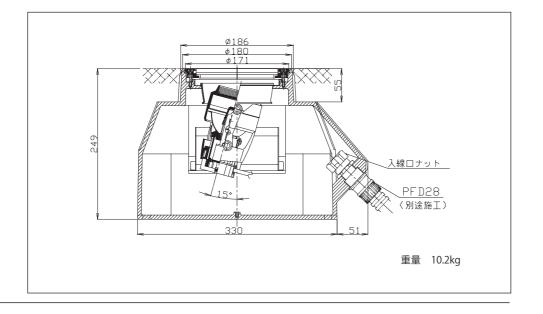
OSAKA　TEL.06-6305-3501
大阪市淀川区西中島5-6-9新大阪第一ビル9F

FUKUOKA　TEL.092-732-4211
福岡市中央区大名1-8-30-1

Maintenance guide

取扱説明書

ModuleXを安心してお使いいただくために

MOD130-4563SP

■器具の清掃について

器具の清掃する場合は、必ず電源を切り、弱アルカリ性洗剤をひたしたやわらかい布で汚れを拭き取り、乾いたきれいな布で水滴をしっかり拭き取ってください。

⚠ シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色・変質の原因になります。

■保証について

保証期間

弊社独自の長期保証期間を定めています。

保証内容

製品の不具合が発生した場合製品毎の保証期間と条件によって無償修理
または無償交換致します。照明器具の施工により破損や施工に関わる部材などは
保証の対象外になります。

修理のご依頼について

保証期間が過ぎている場合、また、保証条件にあたらない場合は、
有償修理とさせていただきます。

保証条件

詳細な保証条件につきましては、「保証書」に記載しております。

※詳細につきましては、弊社営業担当へお問い合わせください。

■アフターサービスについて

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

お問い合わせは 株式会社モデュレックス

TOKYO　TEL.03-5768-3681
東京都渋谷区恵比寿南1-20-6第21荒井ビル

OSAKA　TEL.06-6305-3501
大阪市淀川区西中島5-6-9新大阪第一ビル9F

FUKUOKA　TEL.092-732-4211
福岡市中央区大名1-8-30-1

ModuleX

ModuleX Maintenance

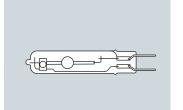
ModuleXを安心してお使い頂くために

MOD130-4563SP

Maintenance guide

MOD130-4563SP

適合電圧　100V/200V
消費電力　45W±6%
（適合安定器を含む）

オプション装着　Filter×2枚　装着可能
型番記載　器具ボディ内側にシール記載

交換用適合ランプ

OSRAM

型番
HCI-TC35W/NDL/PB　（白色）
HCI-TC35W/WDL/PB　（電球色）

定格寿命　12,000時間

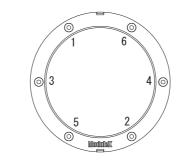
※ランプ交換の際は必ず電源をお切りください

防湿安定器

安全にメンテナンスしていただくために《 必ずご確認ください 》

⚠ 警告：誤って使用すると、人身事故につながるおそれがあります。		⃠：禁止事項
⚠ 注意：誤って使用すると、物的損害につながるおそれがあります。		❗：厳守事項
⚠警告	❗	器具やランプの取付は、器具本体表示または本説明書に従い確実に行ってください。（落下・感電・火災の原因）
	❗	ランプ装着の際は必ず電源を切ってください。（感電の原因）
	⃠	点灯中、消灯直後は高温のため器具に触らないでください。（やけどの原因）
	⃠	布や紙、断熱材を器具の上に置いたり被せたりしないでください。（不点灯、火災の原因）
	⃠	器具の隙間に金属や燃えるものを入れないでください。（感電、火災、器具故障の原因）
	⃠	器具の分解・改造はしないでください。（感電・火災・落下・故障の原因）
	⃠	濡れた手で作業しないでください。（感電の原因）
	❗	煙や異臭等の異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。（感電・火災の原因）
	❗	器具照射面から被照射物への距離を50cm以上確保してください。

■ランプ、オプションの交換について

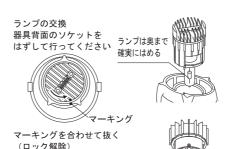
1 カバーガラス取付、取り外し

不良施工例

ボルトの欠落

カバーガラス（アウターガード付も同じ）を締め付ける時は、
トルク設定150～200N・cm以上の締め付け力で均等に行って下さい。
左記番号順に締め付け、なおかつ、増締めして下さい。
締め付けが不十分の場合、浸水の原因となります。

⚠ 必ず増締めを行って下さい。

⚠ ボックス側、カバーガラス側ともに、
ゴムパッキンはよく掃除して下さい。

2. ランプの取付/交換

ボックスから灯具を取り出し、ソケットカバーを本体から外します。
左に回すとロックが解除されます。そのまま上に引き抜いて下さい。
ランプをソケットホルダーに差し込み、
再びソケットホルダーを本体にセットして下さい。

⚠ ランプ取付、交換の際は、必ず電源を切ってから行って下さい。
⚠ ランプは必ず適合品をお使い下さい。
⚠ ランプの取付は必ずベース部を持ち確実にセットしてください。
ガラス部を持つと、ランプ破損や不点灯の原因となります。
⚠ HIDランプ使用器具は調光不可です。調光器は絶対に使用しないで下さい。

⚠ ランプ交換の際は、必ず「乾燥剤」も一緒に交換して下さい。
乾燥剤の効果はランプの寿命とほぼ同じです。
乾燥剤品番：MA-DR01（別売）

⚠ 灯具をボックスに戻し、カバーガラスを取り付ける際は、ボックス側、
カバーガラス側のゴムパッキン部をきれいに清掃して下さい。
この面に小石等の異物をはさむとボックス内に浸水する恐れがあります。
（取扱説明書Ⓐを参照のこと。）

3. 灯具取付の向き

⚠ 灯具取付の向き

灯具の首振り角度を確定させ、ボックス内に取り付けます。
取り付けの際は、ボックスの切り欠きに灯具の突起を合わせ下さい。
合わせないまま行っても、きちんと取り付けられません。
取り付けが済んだら、灯具を回転させ任意の照射方向にセットして
下さい。

4. ライティングパーツの取付/配光の調整

フィルターはフード内のフィルタ固定金具
にしっかりと取付てください。

フードとボディの接合部にある２つのボタンを押した状態でフードを外し、
フィルターの取りつけをおこないます。

上記1～4が終了後、取扱説明書Ⓐをご参照の上、
カバーガラスを取付けて下さい。